２０２３年7月15日

各　位

第73回 全国学校新聞指導者研修会 要項

メインテーマ「**コミュニケーション力を高める学校新聞**」
～コロナ禍が生んだ環境の変化の中で～

主催：(公社)全国高等学校文化連盟正会員団体 高等学校文化連盟全国新聞専門部
全国高等学校新聞教育研究会
後援：文部科学省（予定）・(一社)日本新聞協会(予定)・岐阜県教育委員会(予定)・
中津川市教育委員会・岐阜県高等学校文化連盟・岐阜新聞社・岐阜県ＮＩＥ推進協議会

＜開催にあたって＞

昨年末の調査*によると、高校生のSNS利用率は99％に上っている。SNSは「動画を見る」(92%)、「調べ物をする」(88％)、「音楽を聴く」(85％)など幅広く使われており、高校生の日常は、「ＳＮＳなしには考えられない」と言える。一方、「ＴＶをほとんど見ない」は38％（前出調査）。「新聞購読率は10％にも満たない」など、「マスメディア離れ」が急速に進んでいる。

2020年からのコロナ禍では、人と人との接触が制約され、SNSへの依存状態がより拡大した。ネットによる情報検索は「知りたい情報だけを探すため、関心のない情報は選別され、ネットは「使えば使うほど、無関心な情報は淘汰され、利用者の目に触れなくなる。「興味・関心のたこつぼ化」が起こりやすい状況になるのである。一方で、その反動として、「人との交流から生まれるコミュニケーションの大切さを見直おそう」という動きも生まれている。

「新聞」は、検索の早さ、即時性では、ＳＮＳに及ばない。しかし、多様な意見を掲載し読者に考える視点を提供する「情報の一覧性」という特性を持っている。そのため、「自ら触れようとしなかった情報に無意識に触れる機会が多く、そこから、自らの考えを深めることができる。予測困難な時代を生きる力として、「検索力」に加えて、異なる意見や情報に触れることから生まれる「多角的視野」が必要になる。

学校新聞を通じて、ＳＮＳ時代に必要なコミュニケーション力（他者の意見を取り入れ、自分の意見を伝える力）を高め、生きる力・社会性をどう育てたらよいのか、本研修会がそれを考える機会となることを願っている。

今回の研修会では、第１日目の主な発表をオンライン配信する。加えて、2日間の主な研修内容の事後配信（YouTube配信）も行う。今まで、参加されなかった方も、この機会に是非、研修会にご参加いただき、学校新聞指導について情報を共有し、学校新聞の活性化をさらに進めたいと考えている。（**※ＮＨＫ「放送文化研究所「世論調査」**）

１．目　的：高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、次年度の全国高等学校総合文化祭の開催地でのプレ大会として開催する。

２．対　象：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者

３．参加者（定員）：１６９人（会場参加７０人・オンライン参加９９人まで）

４．日　時：２０２３年１０月７日（土）～１０月８日（日）

５．開催会場：岐阜県中津川市・にぎわいプラザ
岐阜島県中津川市栄町１－６－１（〒508-0032）
電話0573-66-1111　　Fax0573-62-0079
メールアドレス/nigiwai-p@city.nakatsyugaawa.gifu.jp
＜交通アクセス＞
JR中央線・中津川駅前（駅より徒歩1分）

６．オンライン　：「ＺＯＯＭ」によるオンライン配信及び事後配信

7．研修会日程：（★印はオンライン配信プログラム）

（敬称略）

▽全体司会　東京都立晴海総合高等学校講師　土野　　隆

第１日目　：　１０月７日（土）

11:40～12:00　受付

12:00～12:10　開会あいさつ　★

▽全国高等学校新聞教育研究会　会長　松井　孝二

▽(一社)全国高等学校文化連盟正会員団体　高等学校文化連盟全国新聞専門部　事務局長　冨安　道伸

▽岐阜県高等学校文化連盟新聞部門会長（岐阜県立恵那高等学校校長）　森岡　孝文

12:10～13:10　記念講演「新聞とラジオとWeb」　★

▽講師・　岐阜新聞統合編集局クロスメディア担当部長（「週刊ラジオ聴く新聞」担当）　神保 絵利子

13:20～15:10　実践報告　★

②13:20～14:10　実践報告(１)「　未定　」

▽三　重・　桜丘高等学校教諭　中尾　武司

①14:20～15:10　実践報告(２)「新聞部員、長崎をさるく

～取材で発見した長崎の歴史・平和・人々の思い～」

▽長　崎・　県立長崎南高等学校教諭　安井　秀隆

15:20～16:00　グループ討議　＜①記念講演　②実践報告１　③実践報告２　④新任教員の悩み＞

▽総合司会：東京・都立晴海総合高等学校 講師　土野　　隆

16:10～16:50　高校新聞クリニック　★

▽講師：全国高校新聞年間紙面審査賞審査員　鎌田　寛二

17:00～18:00　全国高等学校新聞教育研究会　理事会・総会（会員対象）

19:00～　**交流懇親会（会場・いちふみ）**（中津川駅から徒歩1分）

会場：508-0033岐阜県中津川市太田町2−2−33　TEL 0573-65-2008

第２日目　：　１０月８日（日）（２日目は記録動画による後日配信になります）

9:00～10:00　技術講座「情報の集め方、新聞の作り方」

▽講師：岐阜新聞社統合編集局報道本部報道部NIE 担当　土屋　健一

10:10～11:40　研究分科会

○第１分科会「初心者のための新聞制作」

▽講師：富山・　県立高岡南高等学校講師　得地　　聡

○第２分科会「テーマをめぐって」

▽世話人：広　島・　崇徳高等学校教諭　花岡　健吾

神奈川・　神奈川県公立高等学校元教諭　牧野　修三

○第３分科会「学校新聞とＮＩＥ」

▽世話人：神奈川・　県立高浜高校定時制教諭　木南　景子

神奈川・　日本新聞研究所　中根　淳一

11:45～11:55　地元報告「ぎふ総文に向けて」

▽報告者：岐　阜・　県立恵那高等学校教諭　工藤　志栄

11:55～12:00　全体のまとめ　▽　東京・都立晴海総合高等学校講師　土野　　隆

８.参加申込みについて

（1）会場参加の申込み方法について

申込用紙に必要事項を記入の上、全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター・木南景子（神奈川県立高浜高等学校定時制）宛。お申込みください。あわせて、下記の口座に参加料も送金してください。

なお、振込手数料は本人負担でお願いします。

参加費：①参加費4,000円　　②懇親会費5,000円（希望者）

【送金先】みずほ銀行 東京営業部（００１）口座番号（普通）１００３５４０

加入者名　全国高等学校新聞教育研究会

申込み締切：９月２３日(土)必着

（2）オンライン参加の申込み方法について

昨年、一昨年の鹿児島大会、東京大会へ参加された方にはメールで、参加案内が届きますので、そちらからご参加ください。今年、初めてオンライン参加される方は、オンライン参加申込書に記入して、参加登録をしてください。オンライン配信担当より、メールにて、別途、ご連絡差し上げます。

参加費はPeatixへ支払います（チケットを買う形になります）。オンライン参加申込書には、必ず、メールアドレスをご記載ください。

オンライン参加費１,000円（今回のオンライン同時配信は研修会１日目のみとし、研修会２日目の様子は事後配信でご覧いただくことになります。

申込期間：8月２５日（木）から１０月５日（水）まで

９．研修会についての問い合わせ先：

研修会参加に際し、所属長宛て文書が必要な場合は、下記担当までご連絡ください。

【担当】高等学校文化連盟全国新聞専門部学校新聞指導者研修センター

センター長　　木南　景子（神奈川県立高浜高等学校　定時制教諭）

〒254-0806　神奈川県平塚市高浜台8-1

TEL：0463-21-0417　FAX：0463-22-1051

E-mail：kinami@pen-kanagawa.ed.jp

（定時制勤務のため、電話でのお問い合わせは午後２時以降にお願いします）